

株式会社ブロードバンドセキュリティ  
2019年6月期 第1四半期決算説明資料



2018年12月6日

## 2019年6月期 第1四半期 業績サマリー

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

最近のトピックスのご紹介

# 2019年6月期 第1四半期 業績サマリー

## 1Q業績については順調に推移

単位：(百万円)

	2019年6月期 1Q実績	2019年6月期 2Q累計計画	対2Q 進捗率	2019年6月期 通期計画	対通期 進捗率	2018年6月期 通期実績
売上高	783	1,718	45.6%	3,700	21.2%	3,346
セキュリティ監査・コンサル	147	357	41.2%	838	17.6%	763
脆弱性診断	199	453	44.0%	976	20.5%	899
情報漏えいIT対策	436	906	48.1%	1,884	23.2%	1,682
売上原価	681	1,417	48.1%	2,836	24.0%	2,551
販売費及び一般管理費	175	348	50.4%	678	25.9%	613
営業利益	-73	-47	-	185	-	181
営業利益率	-	-	-	5.0%	-	5.4%
経常利益	-101	-71	-	155	-	154
経常利益率	-	-	-	4.2%	-	4.6%
当期純利益	-71	-78	-	134	-	172

前年度1Q実績および今年度1Q計画値については公表しておりません。

### <2019年6月期 第1四半期について>

売上高	下期偏重計画の中、1Qにおいては計画をやや上回る	
	セキュリティ監査・コンサルティング	概ね計画通り
	脆弱性診断	ピーク（9月）を抑制する計画値を設定していたが、結果的には9月のピークが大きく、計画を上回る
	情報漏えいIT対策	概ね計画通り
営業利益	売上高計画が上回ったことに加え、売上原価、販管費が若干計画を下回ったため、計画を上回る	
経常利益	営業外費用が計画より増加したが、計画を上回る	
当期純利益	税引前利益（▲101百万円）に対する税効果会計の影響（▲30百万円）により、計画を上回る	

2019年6月期 第1四半期 業績サマリー

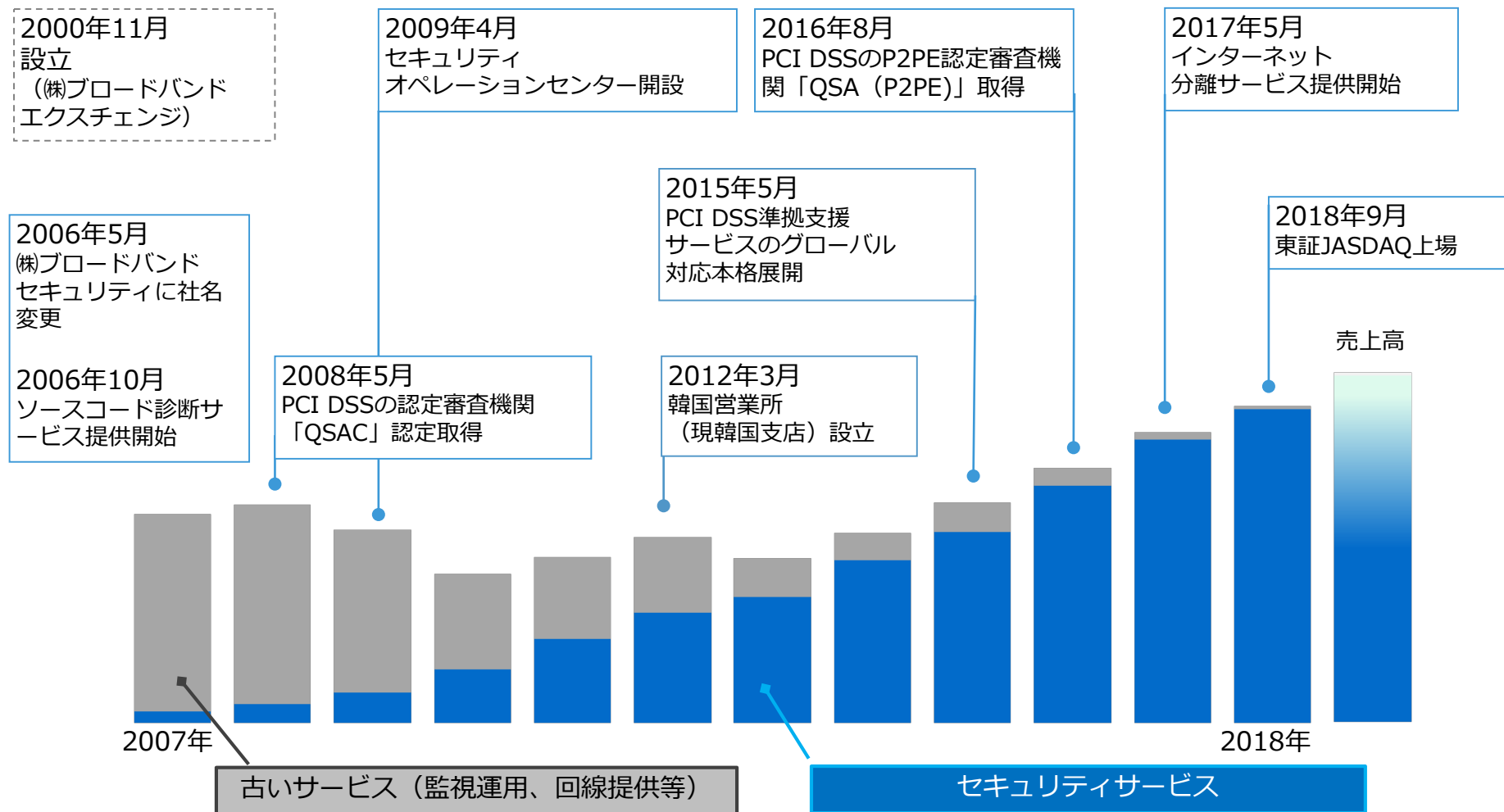
**株式会社ブロードバンドセキュリティについて**

最近のトピックスのご紹介

- 会社名 **株式会社ブロードバンドセキュリティ**
- 本社所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F
- Webサイト <https://www.bbsec.co.jp/>
- 代表者 代表取締役社長 持塚 朗
- 設 立 2000年11月30日
- サービス内容 セキュリティ監査・コンサルティングサービス 脆弱性診断サービス 情報漏えいIT対策サービス
- 事業拠点 天王洲オフィス 大阪支店 名古屋支店 韓国支店 セキュリティオペレーションセンター (東京都内)
- 資本金 2億8,169万円
- 従業員数 186名
- 決算期 6月
- 監査法人 EY新日本有限責任監査法人

(2018年11月30日現在)

## セキュリティサービスへの事業転換が完了



# ブロードバンドセキュリティ（BBSec）とは

## 企業の事業継続性向上を支援する、セキュリティサービスプロバイダー



常にお客様に寄り添い  
現状の可視化から  
日々の運用まで  
一気通貫で支援

セキュリティ対策の  
現状調査・可視化  
企画・検討



セキュリティ監査  
・コンサルティングサービス

- ◆ PCI DSS※1準拠支援・監査  
(有資格者 25 名)
- ◆ セキュリティ・アドバイザリ
- ◆ リスクアセスメント
- ◆ CSIRT※2 構築/運用支援
- ◆ 脆弱性情報提供

脆弱性診断サービス

- ◆ Web アプリケーション診断
- ◆ デイリー自動診断
- ◆ ソースコード診断
- ◆ スマホアプリ診断
- ◆ IoT デバイス診断
- ◆ データベース診断
- ◆ コンテンツ改ざん検知 他

セキュリティ対策の  
導入・運用



情報漏洩  
IT 対策サービス

- ◆ インターネット分離クラウド
- ◆ セキュリティ機器マネージド
- ◆ デジタルフォレンジック
- ◆ セキュアメール
- ◆ マルウェア検知
- ◆ ウイルス感染チェック
- ◆ 標的型メール攻撃訓練
- ◆ SIEM※3構築・運用支援

※1 PCI DSS Payment Card Industry Data Security Standard  
 ※2 CSIRT Computer Security Incident Response Team  
 ※3 SIEM Security Information and Event Management

## 当社の強み

当社が多くのお客様から選ばれるのには、理由があります。

### ニュートラルな サービスプロバイダー



- お客様に最適なソリューションに特化する為に、製品販売を核としない「サービスプロバイダー」
- クラウド対応、スマートフォンアプリ対応など、市場ニーズにフレキシブルに対応

### 培われてきた 高い技術力



- 様々な業種・企業規模にあわせサービスを提供してきた経験値
- 高い技術力を必要とする様々な新規サービスを展開

### セキュリティを提供する 企業としての信頼性



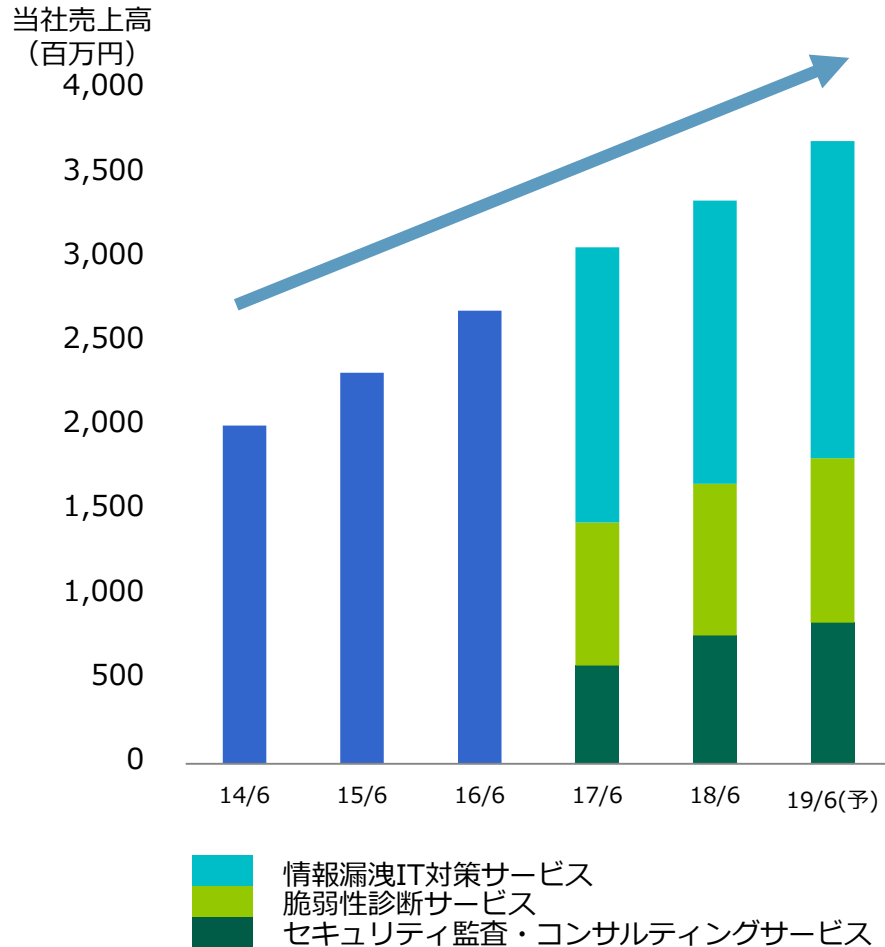
- PCI DSSの監査人数において、国内トップクラス
- 数多くの長期ご契約企業に裏打ちされる高品質なサービス



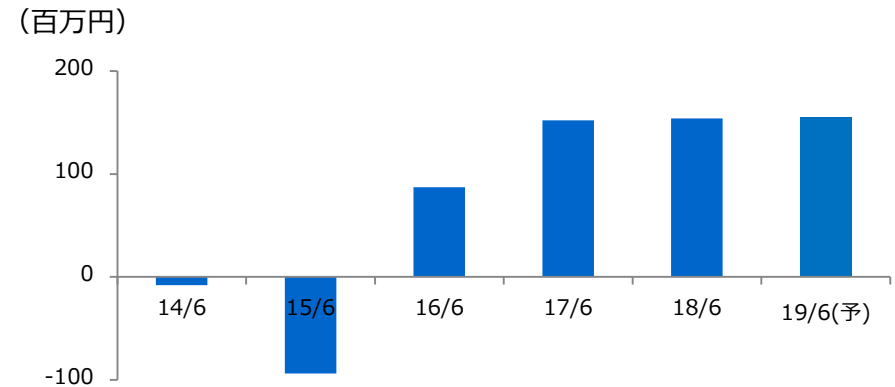
# 業績概況

情報セキュリティニーズの高まりによる売上高増、事業の見直しによる収益性の強化などにより、4年連続増収増益（経常利益ベース）を見込む

売上高推移

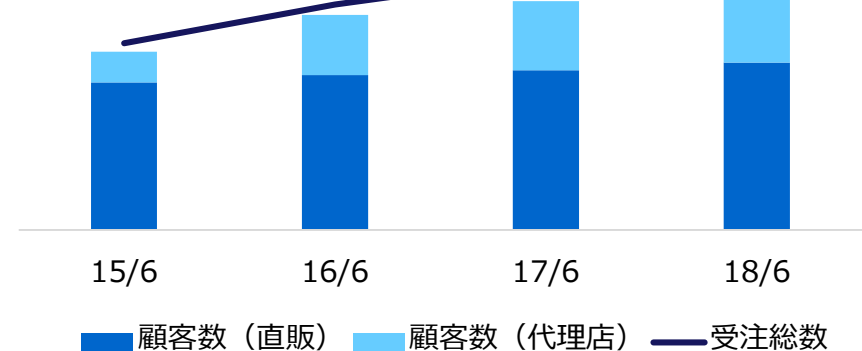


経常利益（損失）推移



顧客数・受注数推移

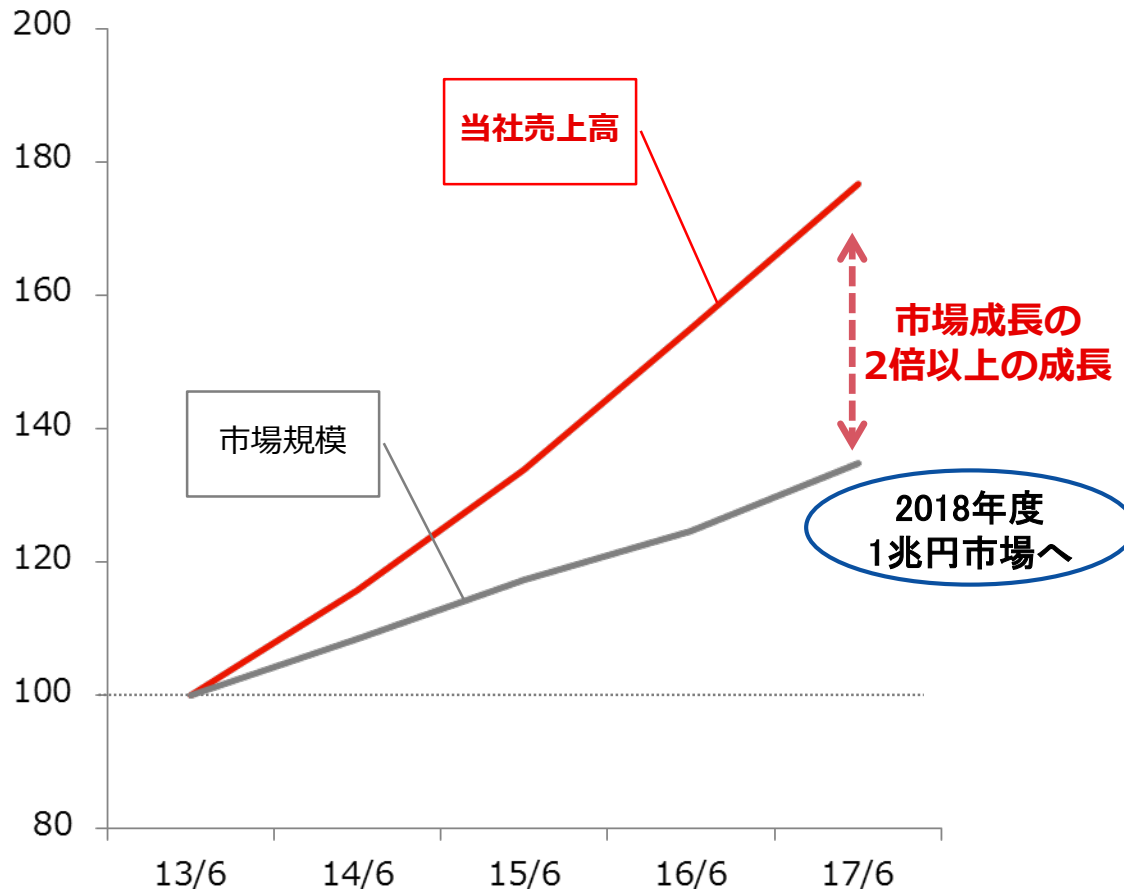
顧客数 約13%増  
受注数 約64%増  
(‘15-‘18)



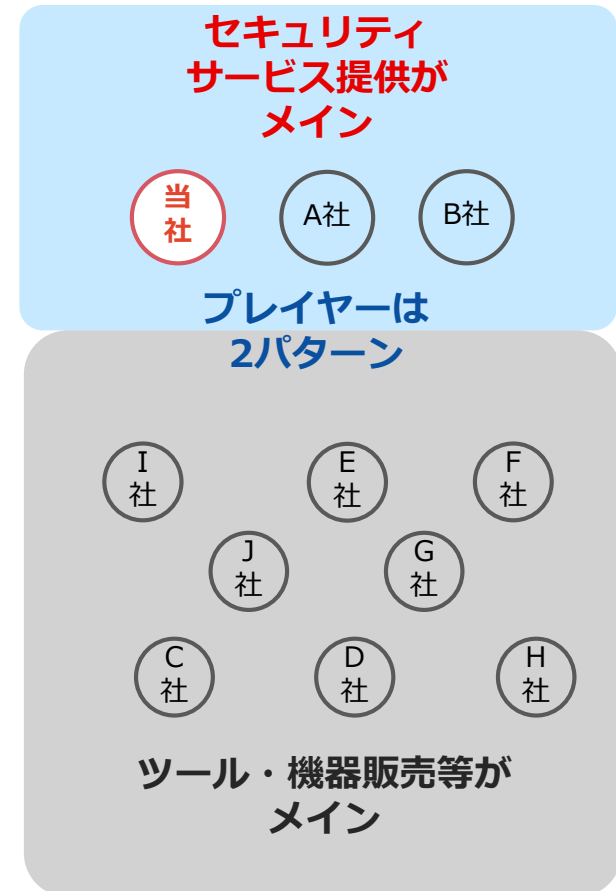
# 恵まれた市場環境

## プレーヤーが限定的であるため、市場環境の2倍以上の成長率を維持

<当社売上高・情報セキュリティサービス市場規模の相対推移  
(2013年 = 100) >



◆セキュリティサービス提供を  
専業としている企業は数社



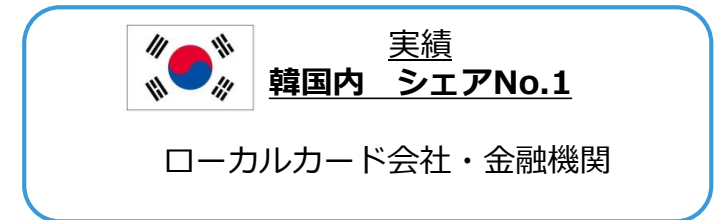
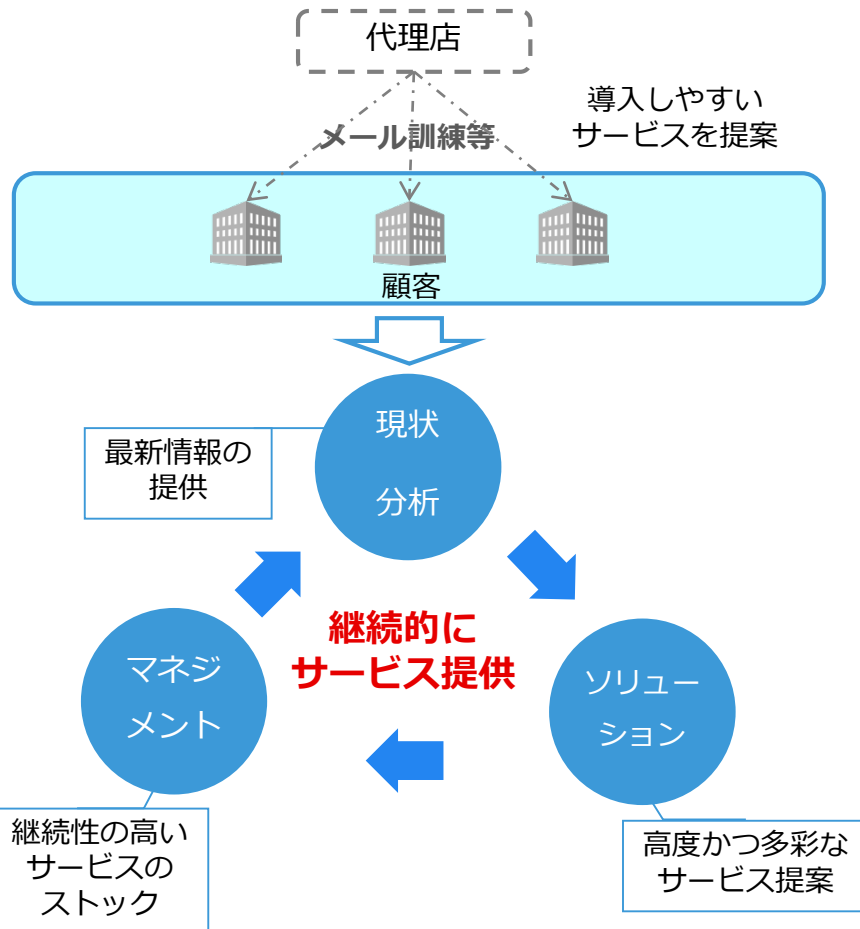
\* 参考：JNSA「国内情報セキュリティ市場 2017年度調査報告」

# 今後の戦略～顧客拡大への対応と海外展開

## 拡大する顧客への継続的なサービス提供と、東南アジアへの展開を計画

- ◆大手・準大手に加え、地方からの顧客も増加傾向  
意欲的な大手・準大手企業を中心とした直販営業に加え  
全国にネットワークを持つ代理店により、裾野の拡大に対応

- ◆海外監査・海外サイトの診断実績を活かし  
グローバルカンパニーに照準



多言語展開



東南アジアローカル  
カード会社・金融機関



サイバーセキュリティ監査が成熟していない  
東南アジア市場で事業を拡大

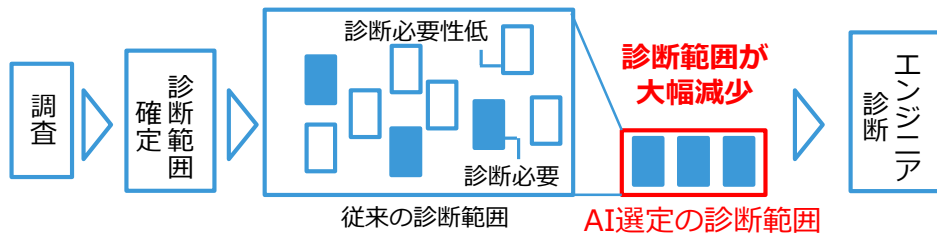
# 今後の戦略～自動化×人材による収益性向上

## 自動化×人材で更なる成長率の向上を目指す

### 自動化

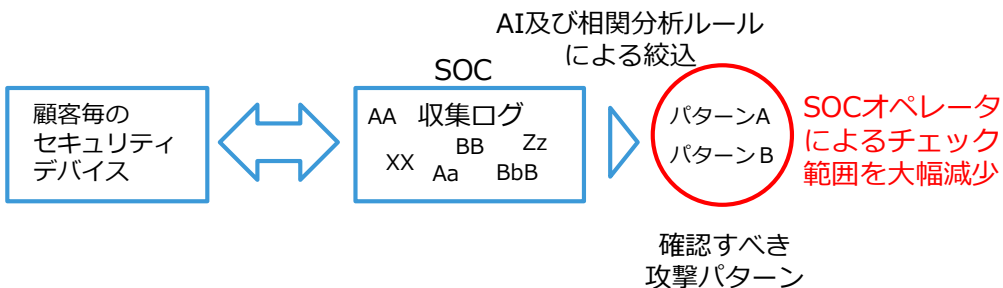
診断の効率化による診断キャパシティの拡大  
診断スピードの向上

AI活用による脆弱ページの特特定速度向上



SOC※の相関分析ルールブラッシュアップと  
AI活用による自動化促進

SOC自動化による作業効率化 (AI活用含む)



SOC: Security Operation Center



### 人材

エンジニアの好む働く場所・働き方を提供

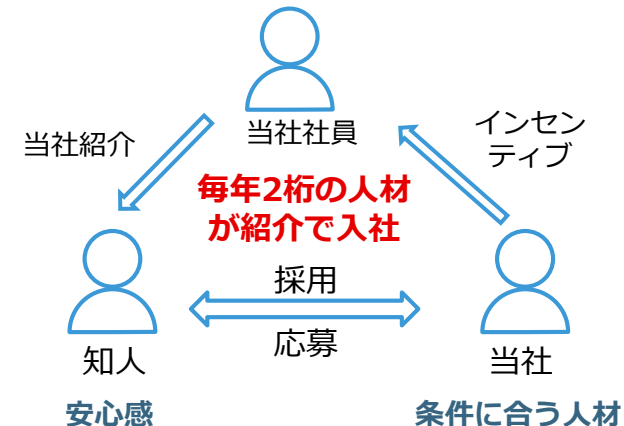
地方拠点を拡充し  
地元で働きたい地方学生を獲得

秋田県と支店立地協定を締結済み

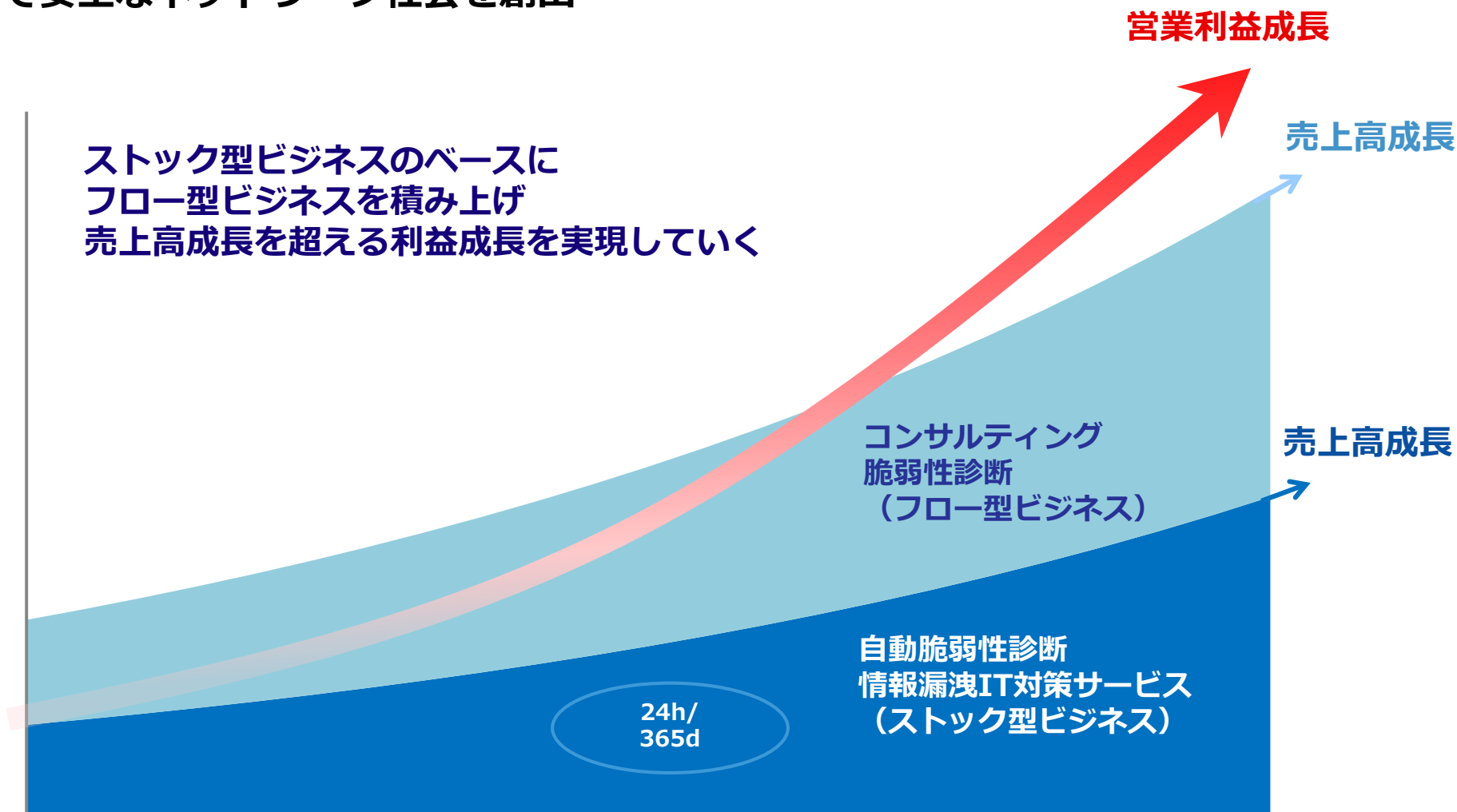


リファラル採用の推進

モチベーション向上



## 多角的なセキュリティサービスの提供により 便利で安全なネットワーク社会を創出



2019年6月期 第1四半期 業績サマリー

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

**最近のトピックスのご紹介**

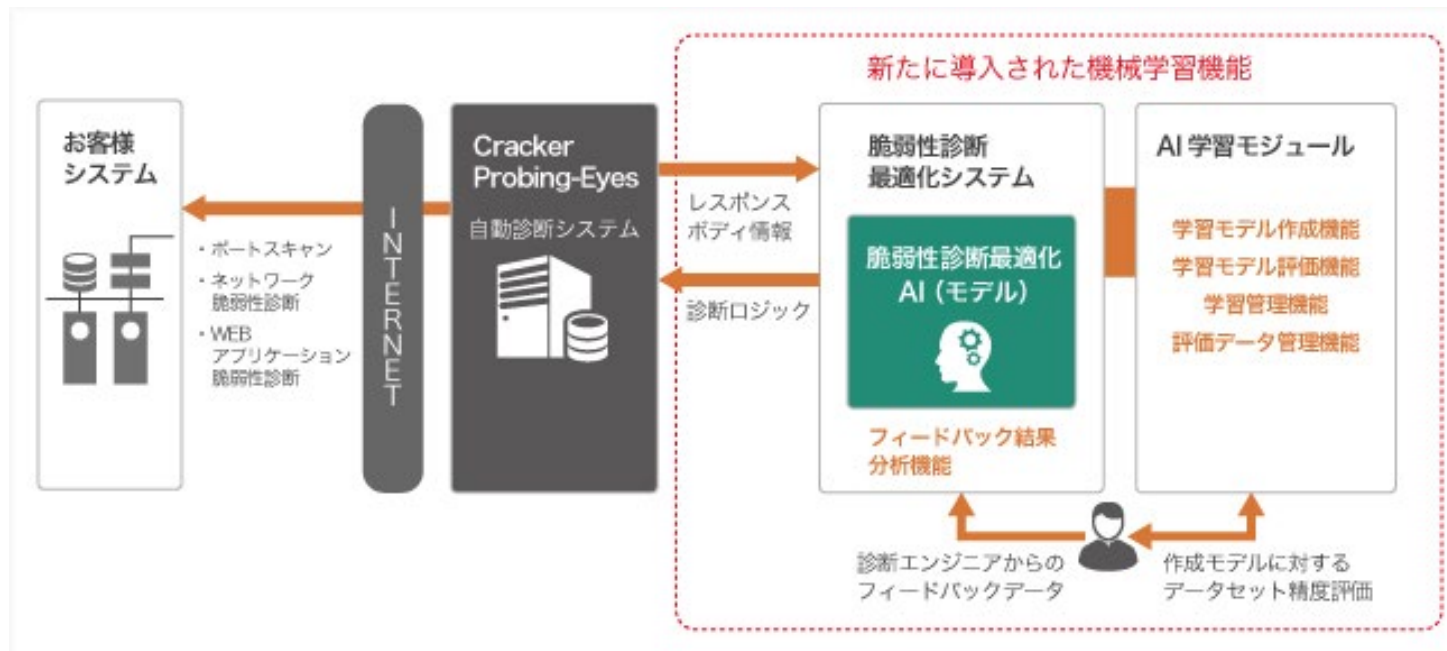
## 最近のトピックスのご紹介

- 9月 AI搭載の自動脆弱性診断サービスをリリース
- 9月 一般社団法人 日本ハッカー協会に賛助会員登録
- 9月 合同会社エルプラスとの協業発表
- 10月 メールやモバイルのセキュリティ対策を検討する業界団体「JPAAWG」を創設
- 11月 クレジットカードセキュリティの認定評価人「QSA」が25名に
- 11月 株式会社JSOLと業務提携
- 12月 特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会のコミュニティに協賛

# AI搭載の自動脆弱性診断サービスをリリース

NTTテクノクロス株式会社の支援を受け、当社のASP型デイリー自動脆弱性診断サービス「Cracker Probing-Eyes」に機械学習機能を搭載しました。

サービス概念図



## ポイント

1. サーバ負荷を低減し、よりスピーディに診断を実施
2. "進化するエンジン"により、日々診断の精度が向上





一般社団法人  
**日本ハッカー協会**  
Japan Hackers Association

日本ハッカー協会  
Webサイト  
<https://www.hacker.or.jp/>



## ポイント

1. ハッカーの地位向上に賛同
2. 登録ハッカーに対する、就職先としての間口を開く

# 合同会社エルプラスとの協業発表

仮想通貨流出事件で使われたIPアドレスを特定、警察へ情報提供を行ったチームでも知られる、杉浦隆幸氏。その杉浦氏が代表の合同会社エルプラスとの協業を開始。



合同会社エルプラス  
Webサイト  
<http://lplus.tokyo/>



## ポイント

1. 業界の第一人者からの貴重なご意見を伺う定期ミーティングの実施
2. 今後のセキュリティ人材の獲得および育成教育の支援
3. 今までにない新サービスの開発

## メールやモバイルのセキュリティ対策を検討する業界団体「JPAAWG」を創設

国内の主要インターネットサービスプロバイダー（ISP）や通信事業者、クラウド事業者などと共同で、メールのセキュリティを中心に、インターネットやモバイルのセキュリティ、マルウェア対策などについて、関連事業者間での情報交換や対策検討をすすめる業界団体として「**JPAAWG**（Japan Anti-Abuse Working Group、ジェイピーアーク）」を創設しました。



2018年11月8日に開催した「**JPAAWG 1st General Meeting**」には、400名を超える方々にご来場頂き、盛況となりました。

### ポイント

当社が長年に渡り参加、協力している「**M3AAWG**（Messaging, Malware and Mobile Anti-Abuse Working Group）」の日本リージョンとして設立。  
事業者が主体となり、M3AAWG と連携しながら、より具体的な対策を協議  
検討、実施してまいります。

## クレジットカードセキュリティの認定評価人「QSA」が25名に

2020年東京オリンピック・パラリンピック、そして来るべきキャッシュレス社会に向けたカード情報保護のニーズに対応するため国際資格である**認定評価人「QSA」**の数を本年8月時点の18名から11月時点で25名に増やしております。



**25**

QSA有資格者

**225**

PCI DSS準拠認定  
付与案件数

**85**

PCI DSS準拠認定  
付与企業数

(2018年11月現在)

### ポイント

国際資格である「QSA」はその取得ハードルが高いことで知られております。今後、カード会社や決済代行会社に加え、加盟店についての準拠認定ニーズの増大で、業界全体で監査人の数が不足している状況の中、当社は積極的に資格取得を続けております。

2018年11月28日、株式会社JSOL（本社：東京都中央区）と、販売パートナー契約を締結。ICTサービスコーディネーターとしてのセキュリティ提案、サービス提供などに、当社セキュリティサービスをご活用いただきます。

### 当社を選択された主な理由

- ✓ 高い技術力と、それを分かりやすく説明できるコンサルタントとの連携
- ✓ 顧客ニーズに適合した提案
- ✓ 信頼できる24/365体制の運用サービス、インシデント発生時緊急対応など、豊富なサービスラインナップ

### ポイント

年々増大する顧客からのセキュリティ対策ニーズに対して、セキュリティ専門ベンダーとの提携による的確なソリューションを提供することが可能に。

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

Internet mail: [ir@bbsec.co.jp](mailto:ir@bbsec.co.jp) WEB: <https://www.bbsec.co.jp/>  
東京本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F  
TEL : 03-5338-7430